



2025年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年12月13日

上場会社名 株式会社バルニバービ 上場取引所 東
コード番号 3418 URL https://www.balnibarbi.com
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 佐藤 裕久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 宮下 大輔 TEL 06 (4390) 6544
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第1四半期の連結業績（2024年8月1日～2024年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第1四半期	3,539	7.6	125	27.8	122	39.2	79	△63.9
2024年7月期第1四半期	3,289	19.0	98	—	87	—	220	—

(注) 包括利益 2025年7月期第1四半期 80百万円 (△63.6%) 2024年7月期第1四半期 220百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期第1四半期	8.80	—
2024年7月期第1四半期	24.88	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年7月期第1四半期	12,319	5,564	44.1	511.12
2024年7月期	10,171	3,428	32.5	372.99

(参考) 自己資本 2025年7月期第1四半期 5,438百万円 2024年7月期 3,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	2.50	—	5.00	7.50
2025年7月期	—	—	—	—	—
2025年7月期（予想）	—	2.50	—	5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,869	4.9	264	△4.7	255	△9.1	176	△46.3	17.83
通期	14,591	8.5	901	39.1	883	36.5	611	13.6	59.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年7月期1Q	10,806,880株	2024年7月期	9,023,880株
② 期末自己株式数	2025年7月期1Q	167,405株	2024年7月期	167,405株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年7月期1Q	9,050,279株	2024年7月期1Q	8,856,475株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済社会活動が活性化し、個人消費の回復やインバウンド需要の増加等を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いた一方で、エネルギー・原材料価格の高騰、円安等に起因して物価が上昇する等、先行きは依然として不透明な状況であります。外食業界におきましては、新たな人流の増加やインバウンド消費の拡大等により売上高は増加しているものの、円安や異常気象等による仕入価格の高止まり、働き手の不足やそれに起因する人件費の上昇などにより厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、従来の「レストラン事業」におけるバッドロケーション戦略での出店で培ったノウハウや知見をもとに、食をベースに総合的なエリア開発を行うことで活性化した不動産の流動化により新たな収益を見込む「エステートビルドアップ事業」を2つ目の成長戦略の柱とし、「食から始まる日本創再生」に取り組んでおります。

レストラン事業においては、ニューノーマルのライフスタイルにおける新しい外食時間として、時間の概念にとらわれず楽しんで頂けるメニューの提案や空間づくりに取り組むと共に、顧客体験の向上と収益の最大化を目指し、既存店の再構築を進めております。店舗運営子会社を中心に、その店舗のマーケットや環境に適したきめ細やかなサービス内容の拡充や価格帯の見直し、業態変更等を含む総合的なアプローチなどにより、お客様の潜在的なニーズに応えることで付加価値を高め、市場競争力の一層の強化を図るべく、グループ一丸となって取り組みを行っております。また行政・自治体からの出店要請は引き続き強いニーズがあると考えられ、出店エリアを厳選したうえで新規出店に伴う運営体制の構築に取り組んでおります。

エステートビルドアップ事業においては淡路島北西海岸を舞台に展開する食を通じた地方創生プロジェクト「Frogs FARM ATMOSPHERE」におきまして、飲食店、宿泊施設の展開等、現在20施設を展開しております。廃校をリノベーションした「SAKIA」におきましては、地域交流の場を提供すると共に、中長期滞在に向けたワーキングスペース機能や宿泊機能等を併設した「SAKIA STAY」も順調に稼働しております。また淡路島南岸におけるプロジェクトは、2024年7月に開業したレストランを核に、一棟貸コテージ、ホテルを来春以降の開業に向けて進行中です。淡路島に新たな観光客を呼び込む拠点としての役割を果たすと共に、地域全体の魅力を発信し、エリアの活性化に寄与することを目指してまいります。また昨年開業いたしました島根県出雲市西海岸における観光、二拠点ライフ、移住を見据えた地方創生プロジェクト「WINDY FARM ATMOSPHERE」につきましましては、レストラン、宿泊施設の運営を強化すると共に、パーキングエリアを活用したアウトドアスタイルのウェディングプランの構築など様々な施策に取り組んでおります。現在、開発エリアを拡大するための準備を実施しておりますが、より多様な施設やサービスを提供できるよう、自治体や地域企業と連携しながら地方創生の取り組みを推進いたします。

当第1四半期連結累計期間における当社及び連結子会社の店舗の増減といたしましては、レストラン事業のバッドロケーションにおいて1店舗をオープン、業態転換により1店舗をオープン、不動産デベロッパーにおいて1店舗をオープン、エステートビルドアップ事業において業務移管を受け1店舗をオープンし当第1四半期連結会計期間末における当社グループの運営する店舗数は100店舗となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,539,589千円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は125,277千円（前年同四半期比27.8%増）、経常利益122,191千円（前年同四半期比39.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益79,623千円（前年同四半期比63.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

① レストラン事業

店舗運営に関しましては、店舗運営子会社における各店舗の状況に合わせたきめ細かい店舗運営に取り組み、ビアガーデンやバーベキュー、こたつテラス等季節に応じた店舗運営、営業企画やイベントの立案、安心安全なテラスの活用や、顧客満足度の向上と収益性を安定させる取り組みを実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,160,125千円（前年同四半期比7.8%増）となり、セグメント利益は79,000千円（前年同四半期比41.2%増）となりました。

(a) バッドロケーション

バッドロケーション戦略におきましては、大型・複合型物件の開発を進める一方で行政や大手デベロッパーとの連携により様々なソーシャルプロジェクトなどへ参画を行うことで、食をベースに複合的な店舗開発を推進しております。また引き続きバッドロケーション戦略の店舗の運営安定化を目的に不動産定期借家契約による退店リスクのある物件につきましましては土地、建物、借地権取得など不動産保有を推進し店舗運営の安定化による収益性確保、不動産価値向上による財務体質の改善に努めております。2024年9月には、京都市中京区の京町屋をリノベーションした「BONSAI1877」をオープン、10月には更なるブランド力の向上と新しい顧客層の開拓を目的に、ダブルネーム業態として

東京都新宿区の「本家かのや」を「十割そば 否否五杯と本家かのや」としてリオープンしております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるパッドロケーション戦略の店舗数は、関東地区18店舗、関西地区8店舗、その他地域2店舗の計28店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は867,937千円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

(b) 不動産デベロッパー

不動産デベロッパー戦略におきましては、好立地、特別な店舗家賃での誘致や初期投資の軽減など好条件での物件獲得を行うことができ、売上規模、収益性、話題性の高い物件を選定することで当社の個性を活かした店舗開発を推進しております。2024年10月には当社初となるスポーツバーとして東京都千代田区に「GAR B Cheers OTE MACHI」をオープンしております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における不動産デベロッパー戦略の店舗数は、関東地区19店舗、関西地区15店舗、その他地域2店舗の計36店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,478,190千円（前年同四半期比13.2%増）となりました。

(c) 行政・公共機関

行政・公共機関戦略におきましては、新たな地方自治体との取り組みにおいて、その街ならではのオリジナルな業態の開発、地域活性化イベントの開催などを行い、地方創再生ネットワークの形成を推進しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における行政・公共機関戦略の店舗数は、関西地区13店舗、その他地域1店舗の計14店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は581,718千円（前年同四半期比14.8%増）となりました。

(d) 大学・その他

大学・その他戦略におきましては、学生のみならず近隣住民へのターゲット層の拡大及びコストコントロールによる収益性改善を進めております。また、顧客の消費動向の変化により拡大した中食需要の取り込みを目的とした通販サイト「CANDLE TABLE」の展開等、顧客満足度の向上と収益性を安定させる取り組みを行っております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における大学・その他戦略の店舗数は、関東地区1店舗、関西地区3店舗の計4店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高61,620千円（前年同四半期比3.3%減）となりました。

(e) その他の事業

その他の事業は、企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェやレストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。当第1四半期連結累計期間における売上高は70,104千円（前年同四半期比25.4%増）となりました。

② エステートビルドアップ事業

当社グループでは、食をベースとした地方創再生プロジェクトとして兵庫県淡路島北西海岸「Frog s FARM ATMOSPHERE」を筆頭に、島根県出雲市西海岸「WINDY FARM ATMOSPHERE」に取り組むことで、地方創再生ネットワークの形成を推進しております。2024年8月には業務移管を受け、6棟のヴィラ「L a z y I n n.」をオープンしております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるエステートビルドアップ事業の店舗数は関西地区14店舗、その他地域4店舗の計18店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は480,017千円（前年同四半期比8.1%増）となり、セグメント利益は46,277千円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

現金及び預金の増加1,996,512千円、売掛金の減少12,829千円、建物及び構築物の増加86,214千円、工具、器具及び備品の増加50,387千円及び繰延税金資産の減少15,245千円等により、総資産は前連結会計年度末に比べ2,147,709千円増加し12,319,445千円となりました。

（負債）

短期借入金の減少466,484千円、流動負債その他の減少289,327千円及び長期借入金の増加789,625千円等により、負債は前連結会計年度末に比べ12,420千円増加し6,755,388千円となりました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、2,135,288千円増加し5,564,056千円となりました。これは主に資本金の増加1,049,643千円及び資本剰余金の増加1,049,643千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年9月13日の「2024年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,851,757	3,848,269
売掛金	684,099	671,270
商品及び製品	172,884	198,399
原材料及び貯蔵品	33,560	33,541
販売用不動産	1,428,331	1,426,295
未収還付法人税等	34,044	46,271
未収消費税等	46,526	51,355
その他	219,144	222,090
流動資産合計	4,470,347	6,497,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,352,454	2,438,669
機械装置及び運搬具(純額)	62,944	68,298
工具、器具及び備品(純額)	653,844	704,232
土地	731,296	731,494
リース資産(純額)	7,734	6,101
建設仮勘定	54,304	41,744
有形固定資産合計	3,862,578	3,990,541
無形固定資産		
借地権	312,423	308,139
その他	19,498	20,739
無形固定資産合計	331,921	328,879
投資その他の資産		
投資有価証券	171,008	170,470
差入保証金	704,319	701,195
繰延税金資産	594,016	578,770
その他	37,542	35,019
投資その他の資産合計	1,506,887	1,485,456
固定資産合計	5,701,388	5,804,876
繰延資産		
株式交付費	—	17,076
繰延資産合計	—	17,076
資産合計	10,171,735	12,319,445

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	335,901	327,605
短期借入金	866,484	400,000
1年内返済予定の長期借入金	941,558	945,334
リース債務	14,773	10,839
未払金	672,519	658,804
未払法人税等	15,457	37,477
未払消費税等	163,206	140,552
契約負債	12,964	21,352
賞与引当金	6,932	27,694
株主優待引当金	34,566	34,557
資産除去債務	7,808	—
その他	494,587	205,259
流動負債合計	3,566,760	2,809,478
固定負債		
長期借入金	2,386,071	3,175,696
リース債務	1,751	768
資産除去債務	686,855	703,008
その他	101,529	66,437
固定負債合計	3,176,207	3,945,910
負債合計	6,742,968	6,755,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,825	1,516,468
資本剰余金	815,088	1,864,731
利益剰余金	2,194,075	2,229,416
自己株式	△172,596	△172,596
株主資本合計	3,303,392	5,438,019
非支配株主持分	125,375	126,036
純資産合計	3,428,767	5,564,056
負債純資産合計	10,171,735	12,319,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
売上高	3,289,140	3,539,589
売上原価	880,322	904,676
売上総利益	2,408,818	2,634,913
販売費及び一般管理費	2,310,773	2,509,635
営業利益	98,045	125,277
営業外収益		
受取利息	102	236
受取保険金	624	778
助成金収入	200	200
違約金収入	2,278	3,496
協賛金収入	—	2,960
その他	837	2,285
営業外収益合計	4,042	9,956
営業外費用		
支払利息	5,532	10,341
シンジケートローン手数料	749	499
支払手数料	5,000	—
株式交付費償却	—	487
その他	3,046	1,713
営業外費用合計	14,328	13,042
経常利益	87,759	122,191
特別損失		
固定資産除却損	—	751
固定資産売却損	—	411
特別損失合計	—	1,163
税金等調整前四半期純利益	87,759	121,028
法人税、住民税及び事業税	6,988	25,498
法人税等調整額	△140,070	15,245
法人税等合計	△133,082	40,743
四半期純利益	220,841	80,284
非支配株主に帰属する四半期純利益	531	661
親会社株主に帰属する四半期純利益	220,310	79,623

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
四半期純利益	220,841	80,284
四半期包括利益	220,841	80,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,310	79,623
非支配株主に係る四半期包括利益	531	661

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	合計		
売上高					
関東	1,392,334	—	1,392,334	—	1,392,334
関西	1,231,346	343,653	1,575,000	—	1,575,000
その他	189,451	100,545	289,996	—	289,996
顧客との契約から生じる収益	2,813,132	444,199	3,257,331	—	3,257,331
その他の収益	31,808	—	31,808	—	31,808
外部顧客への売上高	2,844,941	444,199	3,289,140	—	3,289,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	86,691	—	86,691	△86,691	—
計	2,931,633	444,199	3,375,832	△86,691	3,289,140
セグメント利益	55,964	42,080	98,045	—	98,045

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	合計		
売上高					
関東	1,411,239	—	1,411,239	—	1,411,239
関西	1,425,736	381,292	1,807,029	—	1,807,029
その他	194,599	98,724	293,324	—	293,324
顧客との契約から生じる収益	3,031,575	480,017	3,511,592	—	3,511,592
その他の収益	27,997	—	27,997	—	27,997
外部顧客への売上高	3,059,572	480,017	3,539,589	—	3,539,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	100,552	—	100,552	△100,552	—
計	3,160,125	480,017	3,640,142	△100,552	3,539,589
セグメント利益	79,000	46,277	125,277	—	125,277

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年10月7日付の取締役会において、下記のとおり公募増資による新株の発行を決議いたしました。また、2024年10月22日で2,099,286千円の公募による払込みが完了しております。

(1) 募集方法	一般募集
(2) 募集株式の種類及び数	普通株式 1,783,000株
(3) 割当価格	1,177.39円
(4) 資本組入の額	588.69円
(5) 割当価格の総額	2,099,286千円
(6) 資本組入額の総額	1,049,643千円
(7) 払込期日	2024年10月22日
(8) 資金の用途	中期経営計画「イノベティブシナジー2029」の推進のためのレストラン事業における新規出店に伴う設備投資関連費用及びエステートビルドアップ事業における土地・建物及び付帯設備の取得資金の一部に充当

この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金および資本剰余金がそれぞれ1,049,643千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,516,468千円、資本剰余金が1,864,731千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当座貸越契約

当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うために取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
当座貸越限度額の総額	1,500,000千円	1,000,000千円
借入実行残高	866,484	400,000
差引額	633,515	600,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
減価償却費	99,551千円	123,402千円

(重要な後発事象の注記)

(新株の発行)

当社は、2024年10月7日付の取締役会において、下記のとおり第三者割当増資による新株の発行を決議いたしました。また、2024年11月19日で183,084千円の第三者割当増資による払込みが完了しております。

(1) 募集方法	第三者割当増資
(2) 募集株式の種類及び数	普通株式 155,500株
(3) 割当価格	1,177.39円
(4) 資本組入の額	588.69円
(5) 割当価格の総額	183,084千円
(6) 資本組入額の総額	91,542千円
(7) 払込期日	2024年11月19日
(8) 割当先	SMB C日興証券株式会社
(9) 資金の使途	中期経営計画「イノベティブシナジー2029」の推進のためのレストラン事業における新規出店に伴う設備投資関連費用及びエステートビルドアップ事業における土地・建物及び付帯設備の取得資金の一部に充当